

(参考資料1) 第六次須坂市総合計画 成果指標・プロセス指標一覧(前期基本計画と後期基本計画案との比較)

成…成果指標、プロセス指標

パブリックコメント以降に指標を修正した箇所

施策番号	施策	前期基本計画					後期基本計画(案)					指標の考え方 (前期基本計画から指標や目標値を変更した理由等)
		区分	指標名	単位	現状値	目標値	区分	指標名	単位	現状値	目標値	
1	人権尊重・共生社会の実現	成	「日常的に人権を尊重するようにしている」人の割合	%	60.0	70.0	成	「人権が尊重される社会の実現」の重要度	%	69.0	75.0	【成果指標】 ■啓発の観点から重要度に変更した。
		成	「男女共同参画社会の実現」の満足度	%	22.3	25.0	成	「男女共同参画社会の実現」の重要度	%	66.9	72.5	【プロセス指標】 ■人権教育は成果指標変更から設定した。 ■男女共同参画は、国県指標を参考に現状値から設定した。
		ブ	町别人権問題学習会への年間延参加者数	人	3,633	4,000	ブ	市民大集会と人権教育講座で「深まった」と回答した人の割合	%	85.9	86.0	
		ブ	市の審議会等における女性の委員の割合	%	34.4	40.0	ブ	市の審議会等における女性の委員の割合	%	33.9	40.0	
		ブ	区の運営に関わる女性役員がいる区の数	区	49	69						
2	健康づくりの推進	成	健康寿命(平均自立期間－男性)	歳	80.6		成	健康寿命(平均自立期間) 男性	歳	81.2	81.8	【成果指標】 ■健康寿命について、前期の目標値を「須坂市の平均余命」としていたが、目標値が変動するため、前期計画期間と同程度の伸びを期待し目標値を変更した。
		成	健康寿命(平均自立期間－女性)	歳	84.9		成	健康寿命(平均自立期間) 女性	歳	86.3	87.7	【プロセス指標】 ■4項目に絞り、2つ目の食塩摂取については、『須坂市すこやか計画21』の評価指標と合わせた。
		成	「健康維持・増進に取り組んでいる」人の割合	%	63.0	80.0	成	「健康維持・増進に取り組んでいる」人の割合	%	61.7	80.0	
		ブ	保健補導員のうち、毎日血圧測定する人の割合	%	15.0	30.0	ブ	保健補導員のうち、毎日血圧測定する人の割合	%	21.0	30.0	
		ブ	尿中塩分量10.0g未満の人の割合	%	57.6	72.0	ブ	1日の食塩摂取量の平均値(尿中塩分測定の平均値)	g	9.4	7.6	
		ブ	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上実施している人の割合	%	36.2	40.0	ブ	国民健康保険特定健診の受診率	%	45.8	60.0	
		ブ	特定健診の受診率	%	45.1	60.0	ブ	乳幼児健康診査平均受診率(1歳6か月児、3歳児)	%	97.5	100	
		ブ	乳幼児健康診査平均受診率(1歳6か月児、3歳児)	%	96.1	100.0						
		ブ	朝食を毎日食べる子どもの割合(市内小学3年生)	%	93.6	100.0						
3	地域医療支援体制の推進	成	かかりつけ医を持っている人の割合	%	67.8	80.0	成	かかりつけ医を持っている人の割合	%	64.7	80.0	【プロセス指標】 ■取組みに合わせ、プロセス指標を1項目削除した。
		ブ	特定健診の受診率	%	45.1	60.0	ブ	国民健康保険特定健診の受診率	%	45.8	60.0	
		ブ	生活習慣病予防のための生活改善に取り組んだ者の割合(特定保健指導を終了した者の割合)	%	52.6	60.0						
4	生きがいづくりと介護予防の推進	成	ボランティア活動や生涯学習に取り組んでいる高齢者の割合	%	24.0	27.8	成	ボランティア活動や生涯学習に取り組んでいる高齢者の割合	%	25.5	27.8	【成果指標】 ■『元気な高齢者の割合』は目標値を現状値に合わせ、下方修正した。今後、85歳以上の方が増加し介護保険利用者の増加が予想されるが現状維持を目標とした。
		成	元気な高齢者の割合	%	83.8	83.8	成	元気な高齢者の割合	%	83.0	83.0	【プロセス指標】 ■高齢者いきいきプランに合わせ変更した。
		ブ	介護予防サポーター養成講座累計受講者数	人	352	440	ブ	介護予防サポーター活動人数	人	88	100	
		ブ	一般介護予防事業の延べ参加者数	人	4,405	4,700	ブ	教室等の介護予防普及啓発事業参加者数	人	3,478	4,200	
		ブ	月2回以上の住民主体の通い場数	箇所	27	35	ブ	サロン等の開設数	団体	97	109	
5	高齢者福祉の充実	成	「高齢者や障がいのある方など困難を抱いた人が安心して暮らせるまち」と思う人の割合	%	39.3	45.0	成	「高齢者や障がいのある方など困難を抱いた人が安心して暮らせるまち」と思う人の割合	%	31.8	45.0	【成果指標】 ■『介護サービス利用者の在宅介護率』については、家族形態等の変化により、生活の場が多様化しているが、目標値を現状値に下方修正し現状維持とした。
		成	介護サービス利用者の在宅介護率	%	70.8	70.8	成	介護サービス利用者の在宅介護率	%	70.3	70.3	【プロセス指標】 ■3項目について、既に目標値を達成しており、目標値を上方修正した。
		ブ	地域ケア個別会議の開催回数	回/年	10.0	15.0	ブ	地域ケア個別会議の開催回数	回/年	16	19	
		ブ	認知症サポーター養成講座累計受講者数	人	8,898	10,000	ブ	認知症サポーター養成講座累計受講者数	人	10075	11400	
		ブ	成年後見支援センターにおける相談件数	件	70		ブ	成年後見支援センターにおける相談件数(高齢者)	件	412	500	
6	地域福祉の推進	成	福祉ボランティア活動の年間参加者数	人	1,767	2,300	成	福祉ボランティア活動の年間参加者数	人	2,285	2,300	【成果指標】 ■『みんなで助け合う福祉の充実』の満足度については、目標値を達成しているため、上方修正した。
		成	「みんなで助け合う福祉の充実」の満足度	%	28.1	30.0	成	「みんなで助け合う福祉の充実」の満足度	%	31.8	35.0	【プロセス指標】 ■取組み内容の見直しにより、1項目削除した。
		成	「高齢者や子どもの見守り活動に参加している」人の割合	%	21.3	30.0	成	「高齢者や子どもの見守り活動に参加している」人の割合	%	24.9	30.0	
		ブ	福祉ボランティア講座年間延べ参加人数	人	454	500	ブ	福祉ボランティア講座年間延べ参加人数	人	490	500	
		ブ	成年後見制度普及啓発講座実施回数	累計	0	20						
7	障がい者福祉の充実	成	「困難を抱えた人が安心して暮らせるまち」と思う人の割合	%	39.3	50.0	成	「困難を抱えた人が安心して暮らせるまち」と思う人の割合	%	31.8	45.0	【成果指標】 ■『困難を抱えた人が安心して暮らせるまち』と思う人の割合の現状値が低下しており、目標値を5ポイント下方修正し増加を目指す。
		成	一般就労移行者数	人	4	6	成	一般就労移行者数	人	8	10	【プロセス指標】 ■取組み内容の追加等により、指標を見直し変更した。
		成	「障がいのある方や困難を抱えている方に対して、必要があれば日常的に手助けをしている」人の割合	%	28.1	39.0	成	「障がいのある方や困難を抱えている方に対して、必要があれば日常的に手助けをしている」人の割合	%	35.3	39.0	
		ブ	地域移行者(施設等から地域に生活拠点を移した者)数	人	3	2	ブ	手話言語の普及・啓発活動実施回数	回/年	1	2	
		ブ	成年後見制度普及啓発講座実施回数	回			ブ	成年後見制度普及啓発講座実施累計回数	回	32	50	
8	生活困窮者への支援	成	自立した被保護世帯の割合	%	34.4	40.0	成	自立した被保護世帯の割合	%	44.8	50.0	【成果指標】 ■『自立した被保護世帯の割合』については、目標値を達成したため、上方修正した。
		成	生活困窮者自立支援事業の就労支援による累計就業者数	人	23	125	成	生活困窮者自立支援事業の就労支援による累計就業者数	人	35	100	【プロセス指標】 ■『生活支援相談延べ件数』について、現状値に合わせ上方修正し、現状維持を目標とした。
		ブ	生活支援相談延べ件数	件	93.0	100.0	ブ	生活支援相談延べ件数	件	125	125	
		ブ	生活困窮者自立相談延べ人数	人	2,539	3,000	ブ	生活困窮者自立相談延べ人数	人	2,174	3,000	

施策番号	施策	前期基本計画					後期基本計画(素案)					指標の考え方 (前期基本計画から指標や目標値を変更した理由等)
		区分	指標名	単位	現状値	目標値	区分	指標名	単位	現状値	目標値	
9	切れ目のない子育て支援の充実	成	「子育てしやすいまち」だと思う市民の割合	%	51.8	53.0	成	「子育てしやすいまち」だと思う市民の割合	%	34.1	36.0	【成果指標】 ■前期を踏襲した。「子育てしやすいまち」だと思う市民の割合は、他自治体との比較の中で厳しく評価されることから、現状値に対する向上値を設定した。
		成	「子どもや子育て家庭をあたたかく見守り、必要があればサポートしている」人の割合	%	30.0	32.0	成	「子どもや子育て家庭をあたたかく見守り、必要があればサポートしている」人の割合	%	40.6	42.0	【プロセス指標】 ■施策にふさわしい指標に差し替えた。現状が望ましい状況であることから、現状維持を目標値とした。
		ブ	子育て支援センター利用者数	人	14,939	15,000	ブ	保育園などの待機児童数	人	0	0	
		ブ	地域児童クラブに満足している保護者の割合	%	84.9	84.9	ブ	地域児童クラブに満足している保護者の割合	%	84.9	84.9	
10	特色ある教育の推進	成	「特色ある魅力的な学校づくりの推進」の満足度	%	31.6	34.0	成	「特色ある魅力的な学校づくりの推進」の満足度	%	31.8	32.8	【成果指標】 ■前期を踏襲した。「特色ある魅力的な学校づくりの推進」の満足度の現状値は、前期の現状値に対して0.2ポイントの向上にとどまったことから、前期の目標値を下方修正して設定した。
		成	自分には良いところがあると答える児童生徒の割合(小学校)	%	88.1	92.0	成	自分には良いところがあると答える児童生徒の割合(児童)	%	90.2	93.0	【成果指標】 ■前期を踏襲した。「特色ある魅力的な学校づくりの推進」の満足度の現状値は、前期の現状値に対して0.2ポイントの向上にとどまったことから、前期の目標値を下方修正して設定した。
		成	自分には良いところがあると答える児童生徒の割合(中学校)	%	75.5	82.0	成	自分には良いところがあると答える児童生徒の割合(生徒)	%	85.5	88.0	【プロセス指標】 ■施策にふさわしい指標にすべて差し替えた。目標値は現状値に対する向上値を設定した。
		ブ	朝食を毎日食べる児童生徒の割合(児童)	%	91.2	100.0	ブ	学校に行くのは楽しいと思う児童生徒の割合(児童)	%	90.5	92.0	
		ブ	朝食を毎日食べる児童生徒の割合(生徒)	%	87.0	100.0	ブ	学校に行くのは楽しいと思う児童生徒の割合(生徒)	%	85.5	87.0	
		ブ	不登校児童・生徒の新規人数(児童)	人	12	10	ブ	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人についても相談できる児童生徒の割合(児童)	%	83.7	85.0	
		ブ	不登校児童・生徒の新規人数(生徒)	人	23	18	ブ	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人についても相談できる児童生徒の割合(生徒)	%	74.0	76.0	
		ブ	教職員ストレスチェックにおける高ストレス判定者の率	%	9.8	8.2	ブ	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う児童生徒の割合(児童)	%	84.0	86.0	
		ブ	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う児童生徒の割合(生徒)	%	81.4	83.0	ブ	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う児童生徒の割合(生徒)	%	81.4	83.0	
11	家庭や地域社会で輝く子どもの育成 (前期)児童・青少年健全育成の推進	成	「児童・青少年健全育成の推進」の満足度	%	28.8	30.0	成	「児童・青少年健全育成の推進」の満足度	%	28.2	30.0	【成果指標】 ■高校生の評価を新たに加えた。目標値は現状値に対する向上数値を設定した。
		成	「地域の子どもの健全育成活動に携わっている」人の割合	%	19.0	20.0	成	「地域の子どもの健全育成活動に携わっている」人の割合	%	21.7	23.0	【プロセス指標】 ■住んでいる地域の行事に参加している児童・生徒の割合
		ブ	住んでいる地域の行事に参加している児童・生徒の割合	%	89.8	90.0	成	「須坂市について魅力的な地域だと思う」高校生の割合	%	68.3	70.0	
		ブ	子育てセミナーの年間件数	件	52	52	ブ	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合	%	91.8	92.0	【成果指標】 ■住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合は調査が終了して測定不能となったため、地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合に差し替えた。目標値は現状値に対する向上数値を設定した。
		ブ	児童青少年育成委員会善行賞の累計件数	件	74	84	ブ	子育てセミナーの年間件数	%	83.6	84.0	
		ブ	児童青少年育成委員会善行賞の累計件数	件	47	52	ブ	児童青少年育成委員会善行賞の累計件数	件	83	89	
12	多様な生涯学習の推進	成	「生涯学習の機会充実」の満足度	%	34.2	40.0	成	「生涯学習の機会充実」の満足度	%	33.4	35.0	【成果指標、プロセス指標】 ■定年延長、趣味の多様化、オンライン化等ライフスタイルの変更により、生涯学習に取り組む年齢層が高齢となり団体構成員の減少に伴い活動の低下、固定化などがあるため現状値を参考にして目標値を設定した。
		ブ	生涯学習センター・地域公民館等の延べ使用者数	人	156,437	180,000	ブ	生涯学習センター・地域公民館等の延べ使用者数	人	147,192	160,000	
		ブ	出前講座の延受講者数	人	5,990	8,000	ブ	出前講座の延受講者数	人	5,077	6,000	
13	文化・芸術・交流活動の推進と継承	成	「生涯学習・文化芸術・歴史を大切にしたまちづくりの推進」の満足度	%	33.9	50.0	成	「生涯学習・文化芸術・歴史を大切にしたまちづくりの推進」の満足度	%	36.5	50.0	【成果指標、プロセス指標】 ■コロナ禍において大幅に減少した入館者は、その後回復しているものの従前までの水準には至っていない。また、ライフスタイルの変化に伴うスポーツ団体の会員の減少や、今後、人口が減少していくとの推計がされており、今後の劇的な増加は見込めないことから、実情に合わせ目標値を引き下げた。
		成	「生涯学習・文化芸術に親しみ、地域のみなさんと一緒に活動に取り組んでいる」人の割合	%	18.4	30.0	成	「生涯学習・文化芸術に親しみ、地域のみなさんと一緒に活動に取り組んでいる」人の割合	%	20.1	30.0	【プロセス指標】 ■コロナ禍において大幅に減少した入館者は、その後回復しているものの従前までの水準には至っていない。また、ライフスタイルの変化に伴うスポーツ団体の会員の減少や、今後、人口が減少していくとの推計がされており、今後の劇的な増加は見込めないことから、実情に合わせ目標値を引き下げた。
		成	「地域の伝統行事に参加するなど、文化の継承に取り組んでいる」人の割合	%	20.6	30.0	成	「地域の伝統行事に参加するなど、文化の継承に取り組んでいる」人の割合	%	24.5	30.0	
		ブ	機能分散型総合博物館入館者数	人	32,584	50,000	ブ	博物館等の学習支援回数	回	40	50	
		ブ	メセナホール入館者数	人	81,170	90,000	ブ	メセナホール入館者数	人	66,767	75,000	
14	スポーツ活動の充実	成	「日頃スポーツをする・観る・関わっている」人の割合	%		40.0	成	「日頃スポーツをする・観る・関わっている」人の割合	%	36.2	37.0	【成果指標、プロセス指標】 ■コロナ禍において大幅に減少した体育施設利用者は、その後回復しているものの従前までの水準には至っていない。また、ライフスタイルの変化に伴うスポーツ団体の会員の減少や、今後、人口が減少していくとの推計がされており、今後の劇的な増加は見込めないことから、実情に合わせ目標値を引き下げ、指標を1項目削除した。
		ブ	スポーツ協会構成人数	人	4,172	4,200	ブ	子ども向けスポーツ教室の参加人数	人	1,191	1,200	
		ブ	子ども向けスポーツ教室の参加人数	人	1,356	1,400	ブ	市民一人あたりのスポーツ施設利用回数	回	4.7	5.0	
		ブ	市民一人あたりのスポーツ施設利用回数	回	5.5	6.0	ブ	市民一人あたりのスポーツ施設利用回数	回	4.7	5.0	
15	防災体制の充実	成	「防災体制の充実」の満足度	%	35.1	40.0	成	「防災体制の充実」の満足度	%	38.3	45.0	【成果指標】 ■前期の現状値の向上を考慮し、目標値を引き上げた。
		成	「災害に対する備えを行っている」人の割合	%	31.8	35.0	成	「災害に対する備えを行っている」人の割合	%	42.8	45.0	【プロセス指標】 ■町を対象としており、地区防災マップ更新は町の変化を示すプロセスとして現状維持とした。
		ブ	地域の自主防災組織による防災訓練(災害図上訓練を含む)実施自治会数	町	62	69	ブ	地域の自主防災組織による防災訓練(災害図上訓練を含む)実施自治会数	町	63	69	
		ブ	地域防災マップ更新自治会数	町	63	69	ブ	地域防災マップ更新自治会数	町	36	69	
16	消防・救急体制の充実	成	「消防・救急体制の充実」の満足度	%	48.2	50.0	成	「消防・救急体制の充実」の満足度	%	50.5	52.0	【プロセス指標】 ■消防団員充足の重要度は変わりなく、取組手順として、まず、応援体制など周辺環境の充実を図る。
		ブ	消防団協力事業所・消防団サポート事業店数	件	41	48	ブ	消防団協力事業所・消防団サポート事業店数	件	43	60	■救急需要の増加を踏まえ、救急の質を高めるため救急救命士の増員を指標に位置づける。
		ブ	消防団員数	人	866	881	ブ	救急救命士数	人	27	42	
		ブ	応急手当講習受講者数	人	7,217	8,967	ブ	普通救命講習受講者数	人	8,396	10,545	

施策番号	施策	前期基本計画					後期基本計画(素案)					指標の考え方 (前期基本計画から指標や目標値を変更した理由等)
		区分	指標名	単位	現状値	目標値	区分	指標名	単位	現状値	目標値	
17	交通安全対策の推進	成	市内での交通事故発生件数	件/年	116	75	成	「交通安全対策の推進」の満足度	%	33.9	35.0	【成果指標】 ■「市内での交通事故発生件数」「市内での交通死亡事故件数」は外的な要因に左右されるため削除した。 ■目標値のうち市民意識指標については、目標値達成したため、さらに満足度の向上を目指して上方修正した。 ■市民取組指標については目標値を達成したため、この取り組みの継続のために現状維持とした。 【プロセス指標】 ■各指標とも前期の目標値を達成していないため据え置いた。
		成	市内での交通死亡事故件数	件/年	0	0	成	「交通マナーを守っている」人の割合	%	90.2	90.0	
		成	「交通安全対策の推進」の満足度	%	26.3	30.0	ブ	各種広報、街頭啓発、講習会などの実施回数	回/年	57	65	
		成	「交通マナーを守っている」人の割合	%	86.5	90.0	ブ	免許返納者数(75歳以上)	人/年	186	200	
		ブ	各種広報、街頭啓発、講習会などの実施回数	回/年	50	65						
		ブ	免許返納者数(75歳以上)	人/年	166	200						
18	消費生活の安全確保と意識向上	成	消費生活相談件数	件/年	255	250	成	消費生活相談件数	件/年	237	250	【成果指標】 ■統計指標については目標値未達のため、現状維持とした。 ■消費者情報の提供の他地域との連携の重要性を確保するため「消費生活の安全確保と意識向上」の満足度を追加した。 【プロセス指標】 ■「講座への参加者数」とする受動的なものから能動的な指標軸に変更した。 ■各種広報等の目標値については、目標値を大幅に達成したため、上方修正した。
		ブ	消費生活に関する講座への参加者数	人/年	195	250	成	「消費生活の安全確保と意識向上」の満足度	%	42.0	50.0	
		ブ	各種広報、街頭啓発、講習会などの実施回数	回/年	49	60	ブ	消費生活に関する講座の開催回数	回/年	7	12	
		ブ					ブ	各種広報、講習会などの実施回数	回/年	98	100	
19	地域安全活動の推進	成	市内での犯罪発生件数	件/年	160	108	成	特殊詐欺被害等認知件数	件/年	4	0	【成果指標】 ■「市内での犯罪発生件数」については、外的な要因が多くコントロールできないため削除し、地域で地域を守る観点から、「地域安全活動の推進」の満足度を高める指標に変更した。 ■「特殊詐欺被害認知件数」については目標値を維持。 ■「防犯活動に取り組んでいる」人の割合は上昇しているが目標値に到達していないため継続して目標達成を目指す。 【プロセス指標】 ■「青バトを活用した自主防犯パトロール巡回件数」も上昇しているが未達であるため現状維持。 ■「各種広報などの実施回数」は新規に設定し、2024年度比5%増とした。
		成	「防犯活動に取り組んでいる」人の割合	%	33.3	50.0	成	「地域安全活動の推進」の満足度	%	37.2	50.0	
		成	特殊詐欺被害認知件数	件/年	2	0	成	「防犯活動に取り組んでいる」人の割合	%	44.3	50.0	
		ブ	青バトを活用した自主防犯パトロール巡回件数	件/年	60	100	ブ	青バトを活用した自主防犯パトロール巡回件数	件/年	88	100	
		ブ	防犯灯LED化率	%	46.0	73.0	ブ	各種広報などの実施回数	回/年	86	90	
		ブ	防犯メールの登録数	人	2,953	4,500						
20	土地の有効利用の促進	成	市街化区域のうち、都市的土地区域の割合	%	88.4	89.0	成	居住誘導区域の人口密度(可住地ベース)	人/ha	68	66	【成果指標・プロセス指標】 ■2023年度策定の立地適正化計画との整合を図り指標の見直しをした。
		ブ	市街化区域内でおこなう1,000m以上の開発行為の累計面積	ha		8.0	ブ	居住誘導区域の人口割合(市総人口のうち居住誘導区域内の人口が占める割合)	%	60.5	62.2	
21	安定的で持続的な上下水道の運営 (前期)安定的な上下水道の運営	成	「上下水道の整備」の満足度	%	63.9	65.0	成	「上下水道の整備」の満足度	%	60.0	65.0	【プロセス指標】 ■前期指標はとともに市民満足度につながる指標であるが、概ねその成果は達成されたと考える。施設の耐震化と老朽化対策は上下水道事業とともに今後の大きな課題で市民の関心も高い内容であり、より成果指標に直接的に繋がる指標のため、変更した。
		ブ	上水道の有効率	%	82.7	85.0	ブ	2023水道ビジョン更新計画以降の上水道の耐震化適合管への累計布設・布設替延長	km	2.7	9.2	
		ブ	下水道水洗化率	%	90.1	92.0	ブ	2024ストックマネジメント計画による下水道管の累計老朽化調査・診断延長	km	0	40.0	
22	道路整備や治水対策の推進	成	「橋や道路整備の推進」の満足度	%	26.6	30.0	成	「橋や道路整備の推進」の満足度	%	31.4	32.0	【成果指標・プロセス指標】 ■現状値を踏まえた目標値の見直しに加え、委員から意見のあった空き家バンク累計登録件数をプロセス指標に追加した。
		ブ	道路改良率	%	52.3	53.0	ブ	道路改良率	%	53.1	54.0	
		ブ	修繕橋梁累計数	累計	10	20	ブ	修繕橋梁累計数	累計	14	20	
		ブ	道路施設における歩行空間の整備(工事実施済の合計距離)	m	85,060	95,000	ブ	道路施設における歩行空間の整備(工事実施済の合計距離)	m	92,999	94,000	
23	安心で快適な住環境の促進	成	「安心で快適な住環境の推進」の満足度	%	23.4	25.0	成	「安心で快適な住環境の推進」の満足度	%	29.3	30.0	【成果指標・プロセス指標】 ■現状値を踏まえた目標値の見直しに加え、委員から意見のあった空き家バンク累計登録件数をプロセス指標に追加した。
		ブ	個人住宅の耐震補強補助件数	件	53	60	ブ	個人住宅の累計耐震補強補助件数	件	60	63	
		ブ					ブ	空き家バンク累計登録件数	件	143	250	
24	公共交通の確保	成	「公共交通の確保」の満足度	%	18.5	25.0	成	長野電鉄須坂駅日平均利用者数	人/日平均	4,882	4,882	【成果指標】 ■鉄道と市民バス・乗合タクシーの利用者数の2本立てとした。 【プロセス指標】 ■市民バスは交通系の電子決済の利用割合を高めることが利用者数の増加に繋がるためこれを指標とした。
		成	「電車、バス、乗合タクシーを利用している」人の割合	%	16.7	20.0	成	すぎか市民バス・すぎか乗合タクシー利用者数	人/年	90,419	90,419	
		ブ	すぎか市民バス・すぎか乗合タクシーの利用者数	人/年	97,210	100,000	ブ	すぎか市民バスICカード利用割合	%/年	42.5	50.0	
		ブ	ICカード利用件数	件/年	30,347	50,000						

施策番号	施策	前期基本計画					後期基本計画(素案)					指標の考え方 (前期基本計画から指標や目標値を変更した理由等)
		区分	指標名	単位	現状値	目標値	区分	指標名	単位	現状値	目標値	
25	自然環境の保全	成	「環境にやさしい生活を実践している」人の割合	%	51.1	60.0	成	「環境にやさしい生活を実践している」人の割合	%	47.9	55.0	【成果指標】 ■「環境にやさしい生活を実践している」人の割合は、現状値が低下した原因として、生活一般の中で「環境にやさしい生活」の概念が浸透したことにより、実践意識が希薄になったことも一因である可能性もあることから、目標値を過半数以上として設定した。 【プロセス指標】 ■「特定外来生物の駆除回数」は、実施区の減少に伴い減じ、「希少生物の保全パトロール回数」は生態系の保全を強化するため増加設定した。
		ブ	特定外来生物の駆除回数	回	5	8	ブ	特定外来生物の駆除回数	回	4	5	
		ブ	希少生物の保全パトロール回数	回	4	4	ブ	希少生物の保全パトロール回数	回	4	8	
26	良好な景観づくりの推進 (前期)須坂らしい景観づくりの推進	成	「良好な景観の保全と育成の推進」の満足度	%	39.8	46.7	成	「良好な景観の保全と育成の推進」の満足度	%	47.7	49.0	【成果指標、プロセス指標】 ■現状値を踏まえ目標値の見直しをした。
		ブ	歴史的建造物の登録件数	件	40	58	ブ	須坂市歴史的建造物の登録件数	件	52	57	
		ブ	動物園の年間入園者数	人	126,656	150,000	ブ	動物園の年間入園者数	人	117,924	120,000	
27	循環型社会の推進と地球温暖化対策	成	地球温暖化防止を意識して生活している人の割合	%		60.0	成	地球温暖化防止を意識して生活している人の割合	%	45.6	55.0	【成果指標】 ■「地球温暖化防止を意識して生活している人の割合」は前期計画策定時に参考値がない中で目標値を設定したため、現状値を考慮して再度設定した。 ■「循環型社会の推進を目指しリサイクルを意識している人の割合」は、生活一般の中でリサイクルを実施しているため、高い割合として現れていないことが原因であると考えられることがから前期計画の現状値相当を目標値とした。 【プロセス指標】 ■「一人一日当たりのごみの排出量」は前期目標を達成しているが、2.5%減として設定した。 ■「CO2削減のための補助件数(太陽光・太陽熱・ペレットストーブ等)」は蓄電池を念頭に内訳を変更した。 ■「マイバッグの持参率」は目標値達成のため修正した。
		成	循環型社会の推進を目指しリサイクルを意識している人の割合	%	75.5	78.5	成	循環型社会の推進を目指しリサイクルを意識している人の割合	%	63.0	76.0	
		ブ	一人一日当たりのごみの排出量	g	747	741	ブ	一人一日当たりのごみの排出量	g	712	722	
		ブ	CO2削減のための補助件数(太陽光・太陽熱・ペレットストーブ等)	件	40	40	ブ	CO2削減のための補助件数(太陽光・蓄電池・太陽熱・ペレットストーブ等)	件	88	88	
		ブ	マイバッグの持参率	%		80.0	ブ	CO2削減のための補助件数(うち蓄電池件数)	件	27	30	
28	農業の振興 (前期)農業の活性化	成	農業産出額	千円	866	950	成	農業産出額	千円	1,204	1,300	【プロセス指標】 ■地産地消に係る指標として、統計上算出可能な学校給食における地元食材の使用割合をプロセス指標として採用、現状値より2.4ポイント増の10%を目標値とした。 ■一部文言を修正した。
		成	「農業の活性化」の満足度	%	33.4	40.0	成	「農業の活性化」の満足度	%	32.5	40.0	
		成	年間就農相談件数	件	46	50	成	学校給食における地元農産物の使用割合	%	7.6	10.0	
		ブ	新規就農研修給付金給付者数	人	57	107	ブ	新規就農研修給付金給付者数	人	104	140	
		ブ	耕作放棄地解消面積	ha	57.5	82.5	ブ	年間就農相談件数	件	51	55	
		ブ	中間管理事業を活用した農地の集約集積面積	ha	5.0	25.0	ブ	遊休農地解消面積	ha	72.7	85.0	
29	森林の保全・活用	成	間伐整備の実施面積	ha	1,138.2	1,400.0	成	「森林の保全・活用」の満足度(%)	%	21.4	30.0	【成果指標、プロセス指標】 ■間伐整備は手法であるためプロセス指標へ移行、成果指標として満足度を採用した。
		ブ	經營管理権を設定した森林面積	ha	0.0	20.0	ブ	間伐整備の実施面積	ha	1,373.08	1,600	
30	(前期)強みを活かした持続的発展可能な産業の実現 (前期)強みを活かした新産業の創出	成	製造品出荷額	百万円	133,766	130,015	成	製造品出荷額	百万円	167,622	183,231	【成果指標、プロセス指標】 ■指標は前期基本計画を踏襲した。「国県などの公募型支援金等申請書作成にかかる支援件数」については、実情に則して下方修正した。
		成	新技術・新製品開発件数	件	2	10	成	新技術・新製品開発件数	件	2	10	
		ブ	国県などの公募型支援金等申請書作成にかかる支援件数	件	39	200	ブ	国県などの公募型支援金等申請書作成にかかる支援件数	件	15	80	
31	雇用機会の充実と産業人材の育成	ブ	産学官金連携にかかる各種研究会の会員数	社・団体	175	190	ブ	産学官金連携にかかる各種研究会の会員数	社・団体	188	200	【成果指標】 ■施策全体の指標としてより適切な内容に見直し、前期の成果指標はプロセス指標に変更した。 【プロセス指標】 ■職場見学会は現在実施していないため、市内に就職した人の割合に見直した。
		成	産業人材育成講座の参加者数	人	117	130	成	「雇用機会の充実と産業人材の育成」の満足度	%	15.8	20.0	
		ブ	高校2年生の職場見学会アンケートで訪問企業に興味を持った人の割合	%	77.8	80.0	ブ	高校卒業時に正規職員として就職した人のうち、市内に就職した人の割合	%	30.0	40.0	
		ブ	市が主催・共催する就職相談会への参加者数	人	788	900	ブ	市が主催・共催する就職相談会への参加者数	人	447	530	
		ブ	職場いきいきアドバンスカンパニーへの認証	社	4	8	ブ	職場いきいきアドバンスカンパニーへの認証	社	9	15	
							ブ	産業人材育成講座の参加者数	人	170	190	

施策番号	施策	前期基本計画					後期基本計画(素案)					指標の考え方 (前期基本計画から指標や目標値を変更した理由等)
		区分	指標名	単位	現状値	目標値	区分	指標名	単位	現状値	目標値	
32	商業の活性化	成	年間商品販売額(除:イーター周辺開発に関する金額)	億円	852.9	900.0	成	「商業の活性化」の満足度	%	36.5	40.0	【成果指標】 ■年間商品販売額は商業統計調査が2014年で経済センサスに統合され、3年ごとの調査のため毎年達成状況が把握できず、満足度調査を成果指標とした。 【プロセス指標】 ■わざわざ店等開設支援補助金を利用した新規出店数は補助金の見直しを進めていることから相談件数とした。 【成果指標、プロセス指標】 ■目標値は、前期計画の達成状況及びイオンモール需要も含み上向きの目標値とした。
		成	「商業の活性化」の満足度	%	19.9	25.0	成	「日用品などできるだけ市内のお店で買い物するようにしている」人の割合	%	60.3	65.0	
		成	「日用品などできるだけ市内のお店で買い物するようにしている」人の割合	%	58.2	65.0	ブ	空き店舗等情報の提供及び支援相談件数(年間)	件	31	35	
		ブ	新規開設店舗累計数	店舗	5	37						
33	地域資源を活かした観光の振興	成	「観光産業の振興」の満足度	%	12.4	25.0	成	「観光産業の振興」の満足度	%	25.5	37.0	【成果指標、プロセス指標】 ■目標値は前期計画の実績を参考に新たに設定した。満足度は観光は市民ではなく市外からの評価を重視することから削除した。
		成	「須坂市を観光地として市外の人にすすめている」人の割合	%	20.0	25.0	成	「須坂市を観光地として市外の人にすすめている」人の割合	%	25.6	28.0	
		ブ	観光地利用者数	人	816,200	800,000	ブ	観光地利用者数	人	723,800	800,000	
34	特色を生かした地域振興の推進	成	「地域ブランド調査」による須坂市の認知度	%	13.6	20.0	成	ふるさと応援寄附金の寄附件数	件	321,003	128,000	【成果指標】 ■「地域ブランド調査」等の成果指標は、客観的とは言い難いため、適切ではないと判断し、変更した。 ■寄附件数は過去最大だった2024年度の件数からグルメ市場分(過去の平均の数字約6割)を除いた分を目標とした。 【プロセス指標】 ■成果指標を達成するため、停止期間中に情報発信を行い寄附者や事業者とのつながりを維持していく必要があり、noteのフォロワー数をプロセス指標とした。 ■地域を超えた若者の関係・交流人口創出が見える指標として、新たに蔵の町並みキャンパス事業の参加者数を設定した。
		成	「特産品を市外の人にすすめている」人の割合	%	28.2	35.0	ブ	ふるさと納税公式noteのフォロワー数	人	704	850	
		成	「須坂市を観光地として市外の人にすすめている」の割合	%	20.0	25.0	ブ	蔵の町並みキャンパス事業の年間延べ参加者数	人	1,000	1,100	
		ブ	信州須坂ふるさと応援寄附金の返礼品提供事業者数	件	50	75						
35	広聴・広報の充実	成	「広報須坂」を読んでいる人の割合	%	86.5	90.0	成	広報須坂や市ホームページ、市公式SNS等の市広報媒体を通じて行政情報等を入手している人の割合	%	69.0	90.0	【成果指標】 ■市の情報の取得については、広報須坂だけでなく、ホームページやSNS等もあるため変更した。 【プロセス指標】 ■各SNSについては、閲覧数よりも、定期的に情報を得ている方(登録者及びフォロワー)にした方がよいと判断した。
		成	市公式ツイッター・フェイスブックのフォロワー数	人	9,560	10,000	成	市公式ライン登録者数	人	3,403	5,500	
		ブ	市公式フェイスブックを見た人の数	人	183,595	200,000	ブ	市公式Xのフォロワー数	人	10,585	12,000	
		ブ	市公式ツイッターを見た人の数	人	4,597,752	5,000,000	ブ	市公式フェイスブックのフォロワー数	人	1,869	2,500	
36	DXの推進 (前期)ICT等による利便性の向上と業務効率化の促進	成	「ICTによる利便性の向上と効率的なシステム運用」満足度	%	13.3	20.0	成	「DXの推進」の満足度	%	20.6	30.0	【成果指標】 ■市民満足度によりDXの推進状況を確認することが適当であると判断した。 【プロセス指標】 ■市民意識調査でニーズが高かったオンライン申請を指標とした。また、前期基本計画のオープンデータ公開件数については、データの公開 자체が目的となっているため、削除した。
		ブ	「(前期)ICT等による利便性の向上と業務効率化の促進」 が示すオンライン利便性対象手続きで市が実施している手続きのうち、市がオンライン化している手続きの割合	%	13.6	30.0	ブ	電子申請の利用件数の累計	件	49,184	55,000	
		ブ	市が所有するデータのオープンデータ公開件数	件	22	30	ブ	個人情報保護・情報セキュリティ研修のテスト合格率	%	90.0	100	
		ブ	長野地域連携中枢都市圏が実施する事業に取り組んだ累計数 個人情報保護・情報セキュリティ研修のテスト合格率	件	43	55						
37	長期的展望に立った行財政運営 (前期)長期的展望に立った財政運営	成	財政力指数	-	0.6	0.6	成	経常収支比率	%	94.7	100.0	【成果指標】 ■経常収支比率は財政の硬直化を表す重要な指標であるため前期計画に引き続き成果指標とし、現状値に加え、ふるさと納税の減収分により、投資的経費の減額と物価高騰などによる経常経費の拡大を見込み目標値を見直した。 【プロセス指標】 ■実質公債費比率及び将来負担比率は財政の健全化に関する重要な指標であるため前期計画から引き続きプロセス指標とし、目標値は前期から据え置いた。 ■市税徴収率は前期計画の目標値を既に達成していること、また、今後の滞納と不納欠損分見込み、業務体制を考慮し算出した。
		成	経常収支比率	%	91.7	90.0	ブ	市税徴収率(滞納額越分を含む)	%	98.7	98.9	
		ブ	市税徴収率(滞納額越分を含む)	%	96.1	98.6	ブ	実質公債費比率	%	8.3	12.0	
		ブ	実質公債費比率	%	9.5	12.0	ブ	将来負担比率	%	-	30.0	
		ブ	将来負担比率	%	20.1	30.0	ブ	長野地域連携中枢都市圏が実施する事業に取り組んだ累計数 職員のワークエンゲージメント調査における「自己成長実感」の肯定回答率	件	52.0	60	
		ブ					ブ		%	70.4	75	
		ブ										

施策番号	施策	前期基本計画					後期基本計画(素案)					指標の考え方 (前期基本計画から指標や目標値を変更した理由等)
		区分	指標名	単位	現状値	目標値	区分	指標名	単位	現状値	目標値	
38	移住定住の促進及び若者の結婚支援	成	行政のサポートによる移住者数の累計	人	186.0	336.0	成	行政のサポートによる移住者数の累計	人	253	275	【成果指標】 ■移住者数の累計をわかりやすくした。また、2026年度は結婚支援事業を実施しないため、記載内容を変更した(プロセス指標も同様)。 【プロセス指標】 ■動画による移住情報コンテンツ登録数よりも、移住体験ツアーの参加人数の方が適切であると判断した。また、オンライン相談だけでなく、対面相談も含めるべきと判断した。 ■若者の結婚施策の成果を測る指標として、「ながの結婚マッチングシステム」への新規登録者数の累計を設定した。
		成	結婚支援事業を通じた成婚数の累計	件	13	15	成	市の結婚支援を通じた成婚数の累計	件	13	15	
		ブ	空き家バンク掲載物件登録件数の累計	件	84	160	ブ	移住相談会(オンラインを含む)の相談件数の累計	件	524	750	
		ブ	動画による移住情報コンテンツ登録数の累計	件	0	120	ブ	移住体験ツアー参加人数の累計	人	93	100	
		ブ	オンライン相談会の相談件数の累計	件	0	150	ブ	ながの結婚マッチングシステムへの新規登録者数の累計	人	23	100	
		ブ	交流イベントなどでのカップル成立数の累計	組	120							
39	協働・市民参画の推進	成	「区(自治会)の会議・行事・美化清掃・クラブ等の活動に参加している」人の割合	%	37.6	50.0	成	「自治会活動に参加している」人の割合	%	39.7	40.0	【成果指標】 ■『「自治会活動に参加している」人の割合』は、前期計画では『「区(自治会)の会議・行事・美化清掃・クラブ等の活動に参加している」人の割合』であったが、自治会ごとに活動内容が異なるため、自治会活動に集約した。 【プロセス指標】 ■『「市民として、さまざまな形で市政(須坂市のまちづくり)に参加している」人の割合』は現状値に差異がないため、5ポイント引き下げた。なお、『市政に参加』の定義及び機会が困難であるため、指標としての取扱を検討する必要ありと考える。 【ブロセス指標】 ■『「地域の課題解決に向けた様々な組織と行政による会議等の開催数』は目標値達成のため上方修正した。 ■『SNS等を通じた各所管による地域貢献事例等の情報発信数』は区長会を通じて実施の方向性で調整中。
		成	「市民として、さまざまな形で市政(須坂市のまちづくり)に参加している」人の割合	%	16.2	25.0	成	「市民として、さまざまな形で市政(須坂市のまちづくり)に参加している」人の割合	%	17.5	20.0	
		ブ	地域の課題解決に向けた様々な組織と行政による会議等の開催数	回/年	0	15	ブ	地域の課題解決に向けた様々な組織と行政による会議等の開催数	回/年	27	30	
		ブ	SNS等を通じた各所管による地域貢献事例等の情報発信数	件/年	0	50						